

しちかしゆくまち ゆのはら  
**七ヶ宿町湯原集落**  
**「スノーバスターズ」を実施しました**

宮城県では、平成25年から平成28年までの4年間、中山間地域等の農作業を支援する「集落支援事業」として、大河原管内の七ヶ宿町干蒲・丸森町筆甫・丸森町耕野の3地区で支援を行ってきました。そして、平成29年度からは「農山村集落体制づくり支援事業」として活動地域を宮城県内全域に拡大し、中山間地域に限らず、農山村集落の活性化に向けて支援を行っています。

今回は、3年ぶりに「豪雪対策本部」が設置された七ヶ宿町湯原集落で、集落内の雪かきボランティア団体「湯原スノーフィールズ」主催のもと、当事業を活用し雪かきの応援ボランティアが行われました。

平成30年2月10日(土)に、七ヶ宿町湯原集落で雪かきをお手伝いする**「スノーバスターズ」**が行われました。

震災復興で他県から訪れている応援職員や、会社員など56名の方に参加いただき、総勢70名での作業となりました。

今回は湯原集落の雪かきボランティア団体「湯原スノーフィールズ」の方々と協力し、6班に分かれて高齢者の住宅1軒で1.5m以上に積もった雪を除雪しました。スコップを使いながら、玄関付近の通路を確保したり、軒下の窓から光が差し込むように雪かきを行いました。



地元の方の案内に続き、作業場へ移動。

日差しがあったため、汗を流しながらの雪かきとなりました。屋根の上で作業をすることもありました。



作業前



2階の屋根まで雪が迫っている状況。



作業中



積もった雪の上はフカフカで足場が悪く、スコップで行う作業は腰にもダメージが大きいので重労働でした。

軒下が開け、2階の窓が見えるようになりました。



作業後



作業終了後、参加者全員で記念撮影。

湯原集落のスノーフィールズの会長である今野誠さんからは、「今年は特に雪が多く、地元でも週に1回は雪かきを行うような状況であったので、大変助かりました。」とお話をいただきました。

参加者の多くからは、「雪の量に驚いた。雪かき作業が想像以上に大変であった。」と感想が聞かれ、高齢化が進んでいる地域にとって、積雪が大きな課題となっていることを実感する機会にもなったと思います。



この活動を機に、七ヶ宿町の自然や、農産物に関心を持っていただき、また足を運んでいただければ幸いです。

この活動は、宮城県の「農山村集落体制づくり支援事業」の一環として行ったもので、宮城県ではこれからも農村集落や中山間地域の持続的発展を支援して参ります。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。

宮城県大河原地方振興事務所農業農村整備部